



## 子どもたちの応援団

校長 田中秋人

空が澄み清々しい秋を感じる頃となりました。ようやく暑さも少し落ち着き、校庭では暑さを忘れて、楽しそうに遊んでいる子どもたちの声が響いています。『読書の秋』・『運動の秋』などといわれるようにこの季節は何をするにもよい季節といわれています。きっと子どもそれぞれに自分にとっての『〇〇の秋』を見つけ、その秋を楽しんでいることと思います。

さて、10月15日(土)には第36回運動会を実施させていただき予定です。運動会に向けて、子どもたちは日々練習に取り組んでいます。本校の体育館は、職員室・校長室の近くにあるため、子どもたちの声がよく聞こえてきます。子どもたちの声が聞こえてくると私自身も胸が高鳴り、体育館に練習風景を見に行っています。低学年の児童は、バンダナを腰につけて先生の動きをしっかりと見ながら、楽しそうに演技をしている様子が印象的でした。中学年の児童は、曲のリズムを体全体で感じながら、友達のよいところをお互いで伝え合ったりして演技がよりよくできるようにしていました。そして高学年の演技は舞岡小の伝統でもあるソーラン節です。6年生は5年生と一緒に練習をする前に昨年度の演技を確かめていました。『ここがポイントだよ。』『こうするともっとよくなるよ。』などと声をかけ合っていました。きっと舞岡小のソーラン節が更によりよくなり、当日を迎えられるのではないかと思います。

休み時間になると今度は、リレーの練習や応援団の練習が始まります。各学級や学年を代表して参加しているということでどの子どもも積極的に練習に参加している姿が多くみられました。校庭でのリレーの練習では、上級生が下級生に対してバトンの受け渡し方のアドバイスをしていました。応援団では、当日にしっかりと応援できるように振り付けの練習をしていました。応援団員に何を応援しているのか尋ねてみると『自分の組が勝てるように』ということだけでなく『運動会が盛り上がるように』『舞岡小学校全体を応援したい』という声が聞けました。勝ち負けにこだわらず、学校全体を盛り立てていこうという姿に私自身も負けずに子どもたちを応援していこうという気持ちにさせられました。ぜひ皆様にも児童のがんばりに熱い応援をいただければ幸いです。

最後になりますが、本来であれば地域の方々も学校にお招きして、一生懸命に取り組んでいる子どもたちの姿をご覧いただきたいのですが、今年度も感染症対策の一環として、残念ながら保護者のみの参観とさせていただきました。地域の方々をはじめとする来賓の皆様には、秋の空の下それぞれの場所で子どもに声援を送っていただければ幸いです。今月も変わらぬ温かいご協力をいただけますようお願い申し上げます。

応援団長  
紅組Kさん 白組Tさん